

平成30年3月22日  
 東部農林振興センター 松江農業普及部

標 題 「平成29年度だんだん営農塾」閉講式にて新たな担い手に期待高まる。

(ダイジェスト)

3月20日、JAしまね中海干拓研修棟において、営農塾閉講式が開催されました。キャベツ2名、西条柿3名、牡丹5名の3コース10名全員が修了し、このうち1名は新規栽培を開始しており、4名は自家経営に参画予定です。

今年度の営農塾は、6月6日に3コースともに開講し、10名が講義と実習等を通して、知識・技術の習得を重ねてきました。

各コースは、次のとおり開催されました。

- 1 キャベツコース；育苗、定植、施肥、収穫調整、他産地・市場視察、機械操作整備  
 営農計画作成等（35回）
- 2 西条柿；摘蕾、摘果、収穫、干し柿加工、剪定、施肥、機械操作整備等  
 （10回）
- 3 牡丹コース；シャクヤク採種・苗掘取、接ぎ木、接ぎ木苗定植、抑制鉢の鉢上げ  
 出荷荷造、就農者講話、牡丹庭園視察、機械操作整備等（13回）  
 ※機械整備（1回）は3コース合同実施。

この日、10名全員が修了し、このうち1名は新規栽培を開始しており、4名は自家経営に参画する予定です。

今後、松江地域再生協議会担い手部会など関係機関は、次年度から修了生のより一層の営農支援のため、作業受委託推進に向けて実習を増加するなど営農塾の内容充実に取り組む予定です。



塾長(松江市農政課長)が修了証を授与



塾生10名のうち5名が営農